

1. 意見

別紙

-----

-----

-----

-----

-----

-----

1. 昭和 56 年の国道 40 号線が水害によって道路が半分削られ、中川が陸の孤島の状況になり川の恐ろしさを知らされた。
2. 名寄市は名寄川から水道水を汲み上げているが、6 月から 8 月にかけての濁水期には平成 14 年から臭気対策の活性炭使用量も増加していると聞いている。ダムがあつて「流水の正常な機能の維持」が出来れば、活性炭の使用量が減ると思う。
3. 昨年 5 月の大雨と融雪、10 月の低気圧による強風と大雨によって、真熟別の水位観測所ではいずれも警戒水位を超え、ダムがあるところなことにはならないと思います。
4. 平成 17 年 9 月 10 日（土）には、賛成派は湖畔緑化植樹会をし反対派はヤマベの天ぷらを食べてからサクラマス産卵行動観察会をしたそうです。賛成派と反対派の行動の違いを改めて感じました。ハッキリ言って人間とサクラマスのどっちが大切なのかなと思います。
5. 名寄川や、天塩川の流域に住んでいる住民の声を大切にし、地方から来て住んでもいないのに、反対のための反対はしないでほしい。